

西武地区地域包括支援センター

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

西武地区地域支援センターは、法人の理念と基本方針に基づき、また入間市より委託を受けた事業所として、地域の高齢者が認知症や病気などになっても住み慣れた地域や自宅などで、できるだけ長く暮らし続けることが出来るよう、専門職はもとより地域住民も含め、制度や対応方法などを共に学び、考え、互いの特性などを理解しながら相手を尊重する姿勢を大切に、連携・協働していきます。

【私たちが提供できる価値】

《主任介護支援専門員》

高齢者の自立支援とは何かを考え介護保険制度やケアマネジメントの専門職として、高齢者の個々の状況や環境に応じて、地域のサービスや社会資源を活用し、その人らしい人生が過ごせるよう支援します。

また、地域で働く介護支援専門員の時にコーチ役、時にリフレッシュの機会を設けるなどし、ケアマネジメントの質の向上を図ります。その他、地域包括ケアシステム構築におけるハブ役として、地域と事業所を繋げることが出来るよう、行政、関係機関、地域住民組織等と連携・協働します。

《社会福祉士》

本人の権利や生命、財産等を守るための必要な知識を得ることができ、将来について考えるきっかけとなるよう、地域住民や介護支援専門員に対して、研修や講演会を開催すると共に、相談がしやすくなるよう、普及・啓発を行います。

また、利用者やその家族、介護支援専門員からの相談を受け、成年後見制度の利用が必要かどうかを見極め、必要な場合には申立てが適切に行われるよう支援します。

その他、高齢者虐待防止と早期発見に取り組み、発見、相談を受けた場合には、入間市高齢者虐待マニュアルに沿って対応し、関係機関等と連携を図り、チームで対応します。

《看護師》

地域住民が人生の主演として健康づくりに取り組めるよう、本人のみならず関係者等と個人の想いを共有しながら、本人が過度に気落ちすることなく人生を歩んでいけるよう療養上の相談に努めます。

健康状態や身体機能に変化があっても、生活課題に応じた支援を望む暮らしの場で役割をもち、本人が大切と考えることを達成していけるよう、在宅医療・介護の相談に応じます。

《介護支援専門員》

高齢になっても地域でいきいきと生活ができるよう介護保険の利用を円滑に進めてゆきます。必要なサービスを家族の皆様や利用者の皆様に合わせ紹介し、事業者を勧める上で公平・中立な立場で行い業務を遂行します。相談者に寄り添い相談援助を行ってゆく事を念頭に入れ業務を行います。

《生活支援コーディネーター》

地域住民と共に、地域に必要な資源は何かを考え、地域住民と事業所、地域住民と行政機関との懸け橋になれるよう職員はもとより、地域の介護・医療の事業所と連携・協働し、地域で支え合え合う必要性を発信・周知を継続して行います。また地域住民等の要請に応じ、高齢者の集いの場の設置などの支援を行います。

【年度終了時の展望】

共に学び、相手の特性を理解した上での連携・協働を継続して行うことで、より互いの理解を深め、世代が変わりゆく中にあっても地域で暮らし、地域で支え合うことをどのように実現させていくのかを共に考えていくことが出来ている。